

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館
〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp

今年も元気に始動 ベビーキッズクラブ



短冊に願いを

7月5日(土)、「ベビーキッズクラブ」が笠懸公民館で開講。7組の親子20人が参加しました。

この教室は同世代の子どもを持つ親同士の交流を深め、家庭教育力の向上に役立つことを目的としています。昨年度の「親子ふれ

あい教室」から名称を変え、始まりました。

開講式では割田館長や講師の根岸恵美子先生からのあいさつ後、新しいベビーキッズクラブの役員からあいさつがありました。「参加者のみなさんと一緒に、仲良く楽しい教室を作っていきたいです」と話しています。

▲みんなで飾ろう♪

スタートは「七夕かざり作り」です。先生が用意した織姫・彦星の台紙に目や口を描き込んで星型の折り紙や色ペンでデコレーション。おうちで作ってきた短冊も一緒に口ビールの笹に飾り付けました。みんなの可愛い願いがかなうといいですね♪

かつこいい〜ね!

消防署を見学

第2回は7月18日(金)に桐生みどり消防署見学に行きました。

楽しみにしていた6組の親子は、早々と現地集合していました。

子どもたちは、ワクワクどきどきしながら救急車に乗り込み大喜び。

消防士さんは、救急車や消防車の内部をわかりやすく説明してくれました。見たことのない救助用の道具や重たいホースを持つたり、防火衣の早着替えを目の前で見たり、貴重な体験ができました。お母さん



▲はたらくクルマに夢中

は喜ぶ我が子の写真撮影に忙しそうでした。

「消防士になるにはどうしたらいいですか?」の質問に「よく食べ、よく寝て、よく遊ぶこと」と。子どもたちの将来に消防士も選択肢になるかも・・・

説明してくれた消防士さんは、全国消防救助技術大会に出場するそうです。

夏休み、公民館de楽しく学ぼう



公民館で集中

みんなでスタディ

「い」といった高校生から年配者まで、さまざまな人たちが子どもたちの学習を見守ります。

みどり市内の小中学生対象に「こうみんかんdeスタディ」が7月22日(火)～25日(金)と7月29日(火)～8月1日(金)に笠懸公民館で行われました。夏休み期間の子どもたちへの学習支援事業です。

事前に学習支援ボランティアを募集。「子どもが好きな」「ボランティアをした」「友だちと来ていた子は「毎年お弁当持ってきています。家より宿題がはかどります」と笑顔で話してくれました。

上手に描けたあ!!

恒例の絵画教室

夏休みの宿題は早く終わらせてたくさん遊びたいですね。今年も笠懸公民館では『夏休み公民館で学ぼう』の絵画教室を7月26日(土)、27日(日)の2日間開催しました。

講師に富弘美術館学芸員

の桑原みさ子さんを招き、小学1年から5年生の児童20人が絵やポスターの描き方を学びました。

1日目は下書き、絵とポスターの構図の取り方を教えてもらいました。何度も何度も描き直してじっくり描き上げる子もいれば、下書きを早々に仕上げて色を塗り始める子もいます。

2日目は色塗り仕上げです。スペースのある背景から塗るよう教わりますが、自分の描く昆虫や花などの

考えよう

これからの公民館

7月23日(火)、令和7年度みどり市公民館運営審議会(公運審)の委嘱式と第1回審議会が、多世代交流館で開催されました。

公運審は、公民館のあり方や公民館と地域・住民との関わりなどを話し合うとても重要な機関です。

委嘱式では、選出元の団体の役員変更に伴う新規委員2人に保志守教育長から



▲楽しく描いて

モチーフの色塗りから始め、没頭する児童もちらほら。順序を間違っても先生は丁寧に優しく細部の彩色について指導してくれ、ほとんどの児童が2日間の日程で夏休みの宿題を一つ終わらせることができました。

参加した児童からは「すごく分かりやすかったです、新しい友達もできたので、来てよかったです」「先生がいろんなことを教えてくれて絵が上手になった」などの声が聞けました。

委嘱状が交付されました。(他15人は昨年度から継続)

あいさつで教育長は「コロナ禍を経て人と人とのつながりが希薄化し、公民館を取り巻く状況は、コロナ禍以前までまだ戻っていない。各委員の豊富な経験を生かし、広い視野での発想や意見をいただきたい」と話していました。

議事では各館の運営状況の報告後、今年度の公運審の活動などについて協議されました。今年度も、全体会のほか地域ごとの部会で



▲よろしくお願いします



▲宿題は公民館で

「笠懸」の由来って？ 高齢者大学始まる

令和7年度みどり市笠懸地域高齢者大学が7月15日(水)に開講しました。笠懸野文化ホールを会場に、開講式後、講演に入りました。

講師は國井洋子さん(岩宿博物館の元学芸員)で、テーマの「新田荘と天神山石材の流通」を解りやすく話されました。

平安時代の末期に「新田荘」ができたそうです。源氏の流れをくむ新田義重が拓き、大間々扇状地(笠懸・数塚・太田地域)を新田原(笠懸野)といい支配



▲講師の國井さん

していたようです。

この地域は「井」のつく地名が多数見受けられます。これは扇状地で水が湧き出る場所を意味し、重殿水源(太田市新田野井町)や矢太神水源(太田市新田大根町)などが有名です。

笠懸の地名について、吾妻鏡(鎌倉時代に成立した日本の歴史書1180〜1266年)によれば、源頼朝が那須への狩りの帰途、新田義重に招かれて新田荘に立ち寄った際、風が吹き被っていた編み笠が飛んだところ、これを弓で射落としたことに由来しているようです。

笠懸の天神山(標高174m)は馬見岡凝灰岩の産地で、多数採掘した痕跡が見受けられます。

これらは鎌倉時代に供養塔や石仏、石塔・五輪塔などの材料として使われたようです。「足利の大岩山毘沙門天の中腹に天神山石材を用いた層塔があるのが確認されているので、ご覧になつてはいかがでしょうか」と話を閉じました。

より良い公民館を目指し 利用者の会理事会

利用者の会理事会が7月16日(水)に開催されました。今回は次の3点について協議しました。

① 文化祭

今回初めてイベント部門に参加。ドーナツ販売をする予定です。文化祭当日は、来場者と触れ合いながら、利用者の会のパンフレットを配布します。

② 利用者懇談会

開催時期を大掃除の後にしてはどうかという意見が出ました。

③ 交流会

利用者同士の交流や相互理解の場にする方向性を確認しました。

笠懸公民館が利用者にとつて交流の場になるよう、知恵を絞っています。

利用者の会理事会では、メンバーを随時募集しています。興味のある人は笠懸公民館までご連絡ください。

防災を考える 56

避難方法を考えよう

災害時、高齢者や要介護者が避難する場合、「必要な情報が入りづらい」「危機意識が低くなりやすい」「自力避難が出来ない」「避難生活に対応できない」など、様々な問題が生じます。

平成25年の災害対策基本法の改正で、避難行動要支援者(災害時に自ら

避難することが困難な高齢者や障害者など)の名簿作成が市町村の義務とされました。令和3年の災害対策基本法の改正では、避難行動要支援者の個別避難計画作成が市町村の努力義務とされています。

9月1日は防災の日、15日は敬老の日。この機会に、まずは家族や近所での避難方法を話し合つてはいかがでしょうか。

みどり市笠懸公民館・みどり市市民講座運営委員会 主催

みどり市市民講座

知って安心！～防災知識のアップデート～

10/16(木) 受付:18時30分 講演:19時00分～21時00分 土地の履歴と自然災害を学ぼう! 講師:群馬大学共同教育学部 青山 雅史 教授	11/5(水) 受付:18時30分 講演:19時00分～20時30分 防災対策と簡単に作れる便利グッズを学ぼう! 講師:日本防災士群馬県支部
11/22(土) 集合:8時30分(笠懸公民館) 講演:10時00分～正午 ※昼食自己負担 地震 火災 暴風 災害時の対処法を学ぼう! 場所:能美防災そなえ 埼玉県防災センター	12/6(土) 受付:13時00分 講演:13時30分～15時00分 避難所生活の概要 防災カードゲームで学ぼう! 講師:中越防災安全推進機関 野村 拓太 氏

◇会場 笠懸公民館 交流ホール、他
◇対象 みどり市在住・在勤・在学の方 ★親子での参加大歓迎
◇募集人数 第3講37人、第4講50人、他100人(先着順)
◇受講費 無料(第3講のみ昼食代あり)
◇申込方法 電話・メールまたは窓口にて申込み。
※申込時に、受講を希望する講座・氏名・住所・電話番号・年代をお知らせください。
※申込受付時間 午前9時～午後5時(月曜休館)
9月5日(金)から各講座1週間前まで
※申込期間を過ぎても定員に満たない場合は、随時申込を受け付けます。
◇申込期間 笠懸公民館
◇問合せ 笠懸公民館
◎Tel:0277(76)2211 ◎Mail:kouminkan@city.midori.gunma.jp

一緒に防災を勉強したいモス♪ みどモス



1区
7月12日



2区
7月26日



3区
7月27日



4区
7月12日



5区
7月26日



深まる絆

暑さに負けず

大盛況！

各区納涼祭
7月12日(土)
～8月3日(日)



自然の美を求めて 新井吾朗写真展

「新井吾朗写真展」が7月23日(水)から8月3日(日)まで、笠懸公民館ふるさとギャラリーで開催されました。鉄道写真をメインに作品約80点が展示され、旅の香りを醸し出していました。

北海道根室本線の富良野〜新得間の廃線前の光景、立山連峰を背に走る氷見線の列車など、美しき日本の風土を切りとった作品でした。また、自然と人との共生を願うかのように、佐渡の古民家や伊根の舟屋の家並。酸^すケ湯^{かゆ}では雪の中にランプが灯り心と身体を温めてくれる情景。作者の感性が作品を通して伝わってくるようです。

新井さんに写真展を開い



▲新井吾朗さん

た思いを尋ねたところ「日本という国を旅しての私のメモリアル。まだまだ、知らない土地があります。これからカメラを片手に旅を続けていきたい」と話していました。

暑さに負けず ふくしマルシェ大盛況

みどり市障害者福祉センターつばさで、7月5日(土)に「ふくしマルシェinつばさ」が開催されました。梅雨の最中でしたが、晴れて暑い1日となりました。外ではボランティア協議会による模擬店もあり、大勢の来場者で賑わっていました。

笠懸町婦人会も、炊き出し訓練を兼ねたカレーライスを販売で参加。朝8時から会員23人が集まり、美味しいカレーを作るため汗を流していました。

最近、どの食材も値上がりして大変です。特に米は昨年の約2倍!!それでも、災害時に電気が使えないことを想定し、ガス釜で米を炊き、カレーを作りました。



▲笠懸町婦人会の皆さん

流れる汗を拭きながら、テントで販売。他のテントでも、焼きそば・フランクフルトなど完売していました。汗だくで頑張った「ふくしマルシェinつばさ」も盛況の内に終了しました。

『ウインナーとフランクフルトの違いって?』



フランクフルトはお祭りやイベントでよく見かけ、フランクの愛称でも親しまれている。デパートやスーパーの加工食品の棚には、多種多様な肉製品が並んでいて、その代表がソーセージだ。ソーセージは、ミンチ

かかしを作ろう 米っこクラブ

「岩宿の里米っこクラブ」は7月5日(土)、岩宿の里公園内ふれあい学習館で恒例のかかし作りを行いました。

今年は6グループに分かれ、骨組みの竹に藁で胴体を形作り、思い思いの服を着せてオシャレに仕上げていきます。最後に顔を描いて魅力あふれるかかしが完成しました。

その後、子どもたちはか



▲個性豊かなかかし!!

かしに個性的な名前を付け、班ごとに発表。古代米水田に設置しました。

作業後はお楽しみの流しそうめん。古代料理研究会の皆さんによる、揚げたての天ぷらと新鮮な野菜がふるまわれ、大人も子どもも笑顔で楽しいひとときを過ごしました。

した牛や豚などの肉に調味料とスパイスを混ぜ、腸に詰めて作られていて、いくつかの種類がある。ウインナーはオーストリアのウインで、フランクフルトはドイツで、ボロニアはイタリアで作られたその地方特有のソーセージで、それぞれの地名が名前になっている。

日本では、日本農林規格で、腸の種類または製品の太さによって分類されている。

る。ウインナーソーセージは羊の小腸に詰めたもの。豚の小腸を使ったものはフランクフルト、牛の小腸を使えばボロニア。現在では腸を使わず、人工の皮を使った製品もたくさんあるようだ。その場合は、太さによって、20mm未満がウインナー、20mm以上36mm未満がフランクフルト、36mm以上がボロニアと定められているようだ。

こえの ひろば

列車にゆられて(76)

JR 左沢線

野利 哲



山形県の中央部に位置する山形市から西に向かつて走るJRのローカル線があり、最近、旅をしてきました。左沢線といい、山形市と大江町を結ぶ24・3kmの路線です。賑わいをみせる山形新幹線のホームから離れた場所(5・6番線)に乗り場があります。

列車はキハ100型の2両編成が基本。混雑する時間帯は4・6両になります。山形駅を出ると山形城の堀に沿って北に進みます。向かって左の線路は左沢線と仙山線が走り、右側の線路は山形新幹線で次の北山形駅まで併走しています。(※線路幅は異なります)北山形駅を出るとほぼ平坦で、住宅街を抜け田園地帯を軽快に走ります。最上川を渡るとサクランボの産地・寒河江に入ります。ここに車両基地があり、3編成が停泊していました。寒河江を出ると羽前高松駅に到着。ここはかつて山形交通三山線(羽前高松～

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

▲左沢楯山城を背に

間沢11・4km)の始発駅でした。1974(昭和49)年に廃止になりましたが、何度か写真撮影にきています。右に雪を冠った月山が車窓越しにたおやかな表

情を見せています。柴橋駅から進行方向の左に最上川の流れを見ると、終点の左沢駅となります。

左沢の読み方は諸説ある

ようです。出羽国風土記のなかに「あちら左、こちら右」という記述が紹介されているのが興味深いですね。

左沢駅のホームから後ろを振り返ると山城が望めます。左沢楯山城といい、豪族・大江氏(1346～1370年)の居城跡です。展望台に立てば眼下には悠々と流れる最上川、そして、河岸には最上川舟唄発祥の地の碑が目につきました。運賃 片道510円(左沢～山形)

上毛かるた⑩

御朱印レディー

紅葉に映える妙義山

妙義山は上毛三山の一つ。長年の風雨によって削られ、残った硬い岩が険しく連なる山並みが特徴です。

日本三大奇勝と言われ、

香川県の小豆島に

ある寒霞溪と大分

県の耶馬溪とともに、1923(大

正12年に、国の

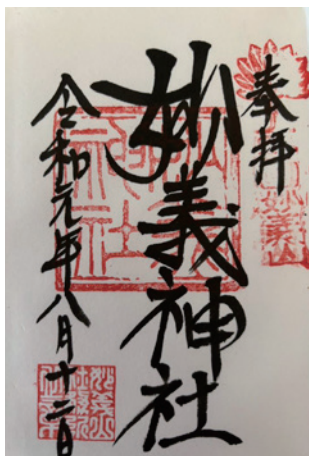
名勝に指定されま

した。

紅葉の時期には、

妙義山はさらに美

しく見えます。



▲妙義神社の御朱印

妙義神社は白雲山の山ろくにあります。81(昭和56)年に、本殿・幣殿・拝殿・唐門・総門が国の重要文化財に指定されました。

登山道入口もあり、登山者がお参りをしてから入山する姿も見られました。

笠懸短歌サークル

七月例会より



今の幸ずうつと続けと書く短冊デイの七夕夫たのしげに

同窓会友と衰へ認めあひ指三本のしびれを語る

今しがた潰したつもりの芋虫がなほ蠢けば胸は痛みぬ

いち日に二つ飲みあし錠剤のひとつに減りて安堵と不安

上村 征子

久保田茂子

関口 定夫

平山 勇

かさかけ

どうぶつ家族⑱

ミキくん (7区)

7月のはじめ、車にはねられ道端に倒れている仔猫をあるご夫婦が保護しました。事故の状況は分かりませんが、顔を激しくぶつけたようで口から血を流して息も絶え絶えの様子でした。ご夫婦は急いで病院に運びます。先生は頭を打っているのだから可能性は低く、このまま苦しませるならと最悪のことも示唆しました。ところが、仔猫は入

院してから2週間で奇跡的に回復します。

強打した顔半分、口はあらぬ方向に曲がり、左目は開けることができませんでした。退院してからそれも回復し、口の中の乳歯数本は欠けたままですが、左目は開けるようになりました。右前脚にまだ麻痺がありますが、自分で歩けるようにもなり、ミキくんとな付けられました。

ミキくんを保護したご夫婦は以前どうぶつ家族で紹介したエルちゃん、すずちゃんのお家です。ミキくんは先住猫にも優しく迎え



▲ミキくん

られていますが、ご夫婦は高齢なので、この先十数年、元氣になったミキくんを末永く育ててくれる家族を探しています。詳細は公民館までお問合せください。

(☎76-2211)

四季の会 八月句会



水芭蕉しろ一面の流れ川
風鈴の音の涼やか蕎麦旨し
夏休み早朝仕込むたまごパン
傘を差し片陰さがす昼日中
ただいまの犬の歓迎酷暑かな
さわやかに松の木陰の観世音
雷鳴や変わる風の香チャリを漕ぐ
打つことも出来ず蚊を追ふ内科院
葉鶏頭の色のとりどり庭の端
あさがおに負けどと起きる朝まだき
屋根にいる見張りカラスや夏の暮れ
片陰を選びて座るベンチかな
八月や争ひやめぬ愚か人
灯ろう流し戻らぬ人に手を合わせ
残暑見舞い実家へ出向く雨の午後
家近く雷鳴うなり身のちぢむ
夏やさい近所でもらふ一袋
蒸し暑し蟻の行列いづこへと
盆用意猫の墓にも線香を
み仏のつむりで休む赤とんぼ
山の宿母を誘ひて鮎料理
名物のアイス饅頭かぶりつく
酒好きな夫とながめる盆の月
駆け足で篠突く雨を避けにけり
先陣の祭りはんてん小粋かな
虫食ひのほうずきも有り迎え盆
新涼やあそび心の紅をさす
ひたすらに滝を目指して黒瀧山
流水の短冊掛けや晩夏光
理由もなく胸に手をおく夜の秋
歳重ね病める足腰霧の朝
白寿なる母は元氣よ生身魂
やわらかき上方ことば羽拔鳥

中村 富喜女
牛房 敏秋
中野 千鶴
泉 純佳
高橋 光栄津
国木 美代香
江原 大樹
宇野 椿
細川 由桂
江原 麗華
櫻本 千春
細川 和勘
佐藤 由美香
江原 隆鍼
高野 春蝶
中村 祐月
高野 光詢
横倉 雅
糸井 梅光
前原 紫蘭
宇野 順雪
裾沢 春蘭
糸井 初音
小林 狐一
石原 青蓮
竹内 光春
徳田 夕子
新羅 光海
韓 百日紅
宇野 由希子
小林 華笑
宇野 勘大
金 光月

ちよつと一息



例年、桐生まつり（現桐生八木節まつり）の来場者数は50万人以上。桐生市の人口は現在9万8千人前後なので、たつた3日間で5倍以上の人が桐生市に集まる。

みどり市をはじめ周辺からの来場がほとんどなのだろうが、進学や就職で県外へ移り住んだ人たちがこの日に合わせて帰ってくる。

以前、高校の同級生に祭りであつたり会つた。彼の実家は衣料品店を営んでいたが、今は廃業してシャッターを閉めている。その実家の前で声をかけられた。

今は県外在住だが毎年祭りを家族に見せたくてこの時期に帰省しているらしい。ほんの数分だったが、皆で踊った八木節などの思い出話に盛り上がった。

街も随分寂しくなつたが、この日だけは往時の熱さが蘇る。

(二二〇)